

予 算 要 求 資 料

令和2年度3月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：保健環境研究費

事業名 新型コロナウイルス感染症検査室改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

保健環境研究所 総務課 管理調整係 電話番号：058-380-2100

E-mail：c22614@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 67,956千円（現計予算額：117,909千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	117,909	0	0	0	0	0	0	88,400	29,509
補 正 要求額	67,956	0	0	0	0	0	0	50,900	17,056
決定額	67,956	185,865	0	0	0	0	0	△88,400	△29,509

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

保健環境研究所において、検査体制の強化及び効率化、職員の負担軽減のため、新型コロナウイルス感染症の検査機器（cobas 8800 System）及びその周辺機器を整備するにあたり、必要となる検査室の改修工事を実施する。

(2) 事業内容

当初想定されていた既存の電気設備、ダクト、空調設備等を活かした改修が困難であることが判明したことから、一部仕様変更を行う。また、検査室専用の小型無停電電源装置の追加、2階共通機器室に設置されている高精度電子天秤の移設を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

・県10／10

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,153	高精度電子天秤移設費
工事請負費	65,803	ユニット設備工事、建築工事、小型無停電電源装置設置工事
合計	67,956	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・新型コロナウイルス感染症総合対策～「新たな日常」対策～

(2) 国・他県の状況

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（R2.5.25）
- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本方針（R2.2.25）

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルス感染症の検査等の体制整備に要する経費であり、後年度の財政負担は生じない予定。

(4) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス拡大防止対策を図るため、行政検査の体制強化、効率化を目的とした事業であり、県の実施は妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 新型コロナウイルス感染症対策としての検査体制の整備であるため、検査機器等の導入にあたり、早急に検査室を整備する必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	新型コロナウイルス感染症は、県において「非常事態宣言」を出した状況にあり、県民の健康被害を最小限に抑える上で、県内の感染拡大防止と検査体制の整備は極めて重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	新型コロナウイルス感染症によるクラスター対策など行政機関による検査において、効率的に検査できる体制を整備するために必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	県内の検査機器等の整備状況等の把握に努めており、必要数の把握とさらなる充実を図っていく。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	